

～シリーズ東京真画名所図解 第三回～ 「安治の描く開化東京」展

会期：2015年 10月 10日(土) ～ 12月 23日(水・祝)

会場：＜ GAS MUSEUM がす資料館＞ガス灯館2階「ギャラリー」

ごあいさつ

GAS MUSEUM がす資料館では、ギャラリー第76回企画展として、2015年 10月 10日(土)から 12月 23日(水・祝)までの期間、「～シリーズ 東京真画名所図解 第三回～『安治の描く開化東京』」展を開催します。

井上安治は、「光線画」の作品で人気を博していた小林清親へ入門し、1880年(明治13)には早くも作品を発表しました。師の作風を模倣しつつも、自身の感性で捉えた東京風景を表現し、明治はじめの東京の風景を描きました。

現在「東京真画名所図解」(とうきょうしんがめいしよずかい)と通称される、134点からなる四ッ切り判サイズを中心とした一連の作品は、1881年(明治14)頃から亡くなる1889年(明治22)まで、井上安治の活動期ほぼ全般にわたって手がけた代表作になります。

一昨年より当館で開催している、「東京真画名所図解」シリーズを紹介する第三回として、今回は安治による明治東京の開化風景を描いた44点の作品を、その現在の姿を写した写真と共に展示紹介します。

GAS MUSEUM がす資料館

■展示作品一覧

【展示解説】

学芸員 高橋 豊

東京真画名所図解(とうきょうしんがめいしよずかい)井上安治(いのうえやすじ)がデビューした翌年の1881年(明治14)頃から、亡くなる1889年(明治22)頃までの、活動期ほぼ全般を通じて手がけた安治を代表する作品になります。

まとめて画帳として伝わる作品には幾つもの題名が見えますが、当時の正式な名称は判明しません。現在は「東京真画名所図解」の通称で呼ばれています。確認されている点数は134点になり、四ッ切り判サイズを中心とした小型の作品では、安治独自の構図のほか、師清親の大判作品を写した作品が多く含まれています。写した作品の多くは、大判から四ッ切り判へと縮小されるのに合わせ、人物の数や配置のほか、季節や時刻を変更し、小サイズの構図と限られた色使いの中にまとめられています。

署名が記された作品もありますが、約半数は無記名で、「探景(たんけい)」「井上探景」と記されている作品は、「探景」の号を使用するようになった1884年(明治17)以降の制作と推測できます。

取り上げられた場所は、現在の赤坂附近を西端に、東は千葉縣市川市、北は埼玉県川口市荒川岸边、南は大田区海岸付近と、明治10～20年代の東京の風景を今の私たちに伝えてくれています。

- 1) 東京真画名所図解 浅草廣小路
井上安治 1882-89年(明治15-22)
- 2) 東京真画名所図解 吾妻橋
井上安治 1887-89年(明治20-22)
- 3) 東京真画名所図解 吾妻橋 (夜)
井上安治 1887-89年(明治20-22)

1887年(明治20)に改架した吾妻橋は、隅田川に架かった最初の鉄橋になります。

橋は車道と歩道に分かれており、人や馬車が行き交い、夜はガス灯が照らしました。昼夜を問わず賑やかな様子を、ほぼ同じ構図で安治は描いています。



吾妻橋

- 4) 東京真画名所図解 浅草仲見世
井上安治 1885-89年(明治18-22)
- 5) 東京真画名所図解 浅草公園夜景
井上安治 1884-89年(明治17-22)
- 6) 東京真画名所図解 浅草奥山図
井上安治 1888-89年(明治21-22)

作品中央に描かれているのは、1888年(明治21)に本所から浅草花屋敷に移設された、奥山閣(おうざんかく)です。

建物にはさまざまな銘木を用い、屋根上に木製金箔の鳳凰を乗せた五階建ての建物で、1890年(明治23)に完成した凌雲閣(浅草十二階)とともに、浅草の新名所となりました。

- 7) 東京真画名所図解 浅草蔵前通
井上安治 1884-89年(明治17-22)
- 8) 東京真画名所図解 浅草橋之景
井上安治 1881-89年(明治14-22)

浅草橋が浅草見附の石材を利用して石橋に改架されたのは、1874年(明治7)のことになります。

安治自身、デビューした1880年(明治13)にほぼ同じ構図の作品を、大判サイズの作品で描いています。

9) 東京真画名所図解 浅草橋

井上安治 1884-89年(明治17-22)



10) 東京真画名所図解 両国橋焼跡

井上安治 1881-89年(明治14-22)

11) 東京真画名所図解 上野三橋

井上安治 1882-89年(明治15-22)

12) 東京真画名所図解 上野動物園

井上安治 1882-89年(明治15-22)

1882年(明治15)に開園した上野動物園は、博物館の付属施設として誕生しました。

当初は日本産の動物たちが多く、明治20年代以降、虎やゾウが来園しました。日本初の水族館も、上野動物園開園時に誕生しました。

13) 東京真画名所図解 上野競馬

井上安治 1884-89年(明治17-22)



14) 東京真画名所図解 上野ステーション

井上安治 1885-89年(明治18-22)

1883年(明治16)に上野から熊谷間で開業した日本鉄道は、日本初の私鉄会社で、1891年(明治24)には青森まで延伸しました。

作品に描かれている上野駅駅舎は、開業から遅れること2年、1885年(明治18)に落成しました。



15) 東京真画名所図解 川口鉄橋

井上安治 1884-89年(明治17-22)

16) 東京真画名所図解 千住ラシャ製造場

井上安治 1881-89年(明治14-22)

1879年(明治12)に、現在の南千住の地に完成した千住製絨所(せいじゅうしょ)は、軍服用のラシャ(毛織物)を製造する工場として設立されました。

戦後は民間会社に払い下げられますが、1961年(昭和36)に閉鎖となり、現在はわずかに残る煉瓦塀が工場の記憶を伝えてくれています。



17) 東京真画名所図解 五本松雨月

井上安治 1881-89年(明治14-22)

18) 東京真画名所図解 洲崎

井上安治 1888-89年(明治21-22)

19) 東京真画名所図解 品川沖

井上安治 1881-89年(明治14-22)



20) 東京真画名所図解 高輪鉄道

井上安治 1881-89年(明治14-22)

師清親の作品、「高輪牛町朧月夜」とほぼ同じ構図の作品です。清親の作品に描かれている蒸気機関車は、カウキャッチャーのついたアメリカ型ですが、安治は当時この路線を走っていたイギリス型の蒸気機関車を描いています。

21) 東京真画名所図解 虎ノ門工部大学校

井上安治 1881-89年(明治14-22)

1878年(明治11)に開校した工部大学校は、優秀な外国人教師を招いて西洋教育を行う教育機関でした。卒業生に辰野金吾、藤岡市助、高峰譲吉など、その後大きな足跡を残す人物を育てました。

1886年(明治19)に帝国大学工科大学となり、関東大震災で被害を受けるまで、建物は姿を留めていました。

22) 東京真画名所図解 芝口ヨリ虎ノ門

井上安治 1881-89年(明治14-22)

23) 東京真画名所図解 汐留

井上安治 1884-89年(明治17-22)



24) 東京真画名所図解 新橋ステーション夜

井上安治 1881-89年(明治14-22)

1872年(明治5)建設の新橋駅は、東京における文明開化の窓口でもありました。

師清親の作品、「新橋ステーション」は正面から大きく駅舎を描いているのに対し、安治は少し引いた位置より駅舎を描いています。

25) 東京真画名所図解 築地海軍省

井上安治 1881-89年(明治14-22)

26) 東京真画名所図解 新富座

井上安治 1881-89年(明治14-22)

浅草にあった守田座が、1872年(明治5)にこの地へ移転進出し、3年後に新富座と改名しました。作品には、火災の後、1878年(明治11)に新築開業した建物が描かれています。

東京第一の劇場と呼ばれましたが、1889年(明治22)に歌舞伎座が開業すると徐々にその勢いは衰え、1923年(大正12)の関東大震災で焼失すると、劇場として再建されることはありませんでした。

27) 東京真画名所図解 久松町千歳座

井上安治 1885-89年(明治18-22)

28) 東京真画名所図解 永代橋際日本銀行の雪

井上安治 1883-89年(明治16-22)



29) 東京真画名所図解 四日市

井上安治 1881-89年(明治14-22)



30) 東京真画名所図解 江戸橋之景

井上安治 1881-89年(明治14-22)

31) 東京真画名所図解 鰐橋遠景

井上安治 1888-89年(明治21-22)

日本橋川と現在では埋め立てられている楓川が合流する場所には、1888年(明治21)に辰野金吾設計による渋沢栄一郎が竣工しました。

作品は同年に鉄橋に改架された鰐橋の姿とともに、渋沢邸の窓から光の漏れる、夜景が描かれています。

32) 東京真画名所図解 海運橋

井上安治 1881-89年(明治14-22)

33) 東京真画名所図解 日本橋

井上安治 1884-89年(明治17-22)

日本橋の下流を描いています。

作品左側には、三菱の七ツ蔵と通称された、1880年(明治13)建設の煉瓦造り2階建ての倉庫が並んでいます。

積み荷を積んだ船が何艘も建物前に停泊しており、水運が盛んな頃の日本橋川の風景が描かれています。

34) 東京真画名所図解 日本橋夜景

井上安治 1882-89年(明治15-22)



35) 東京真画名所図解 駿河町夜景

井上安治 1881-89年(明治14-22)



36) 東京真画名所図解 銀座通夜景

井上安治 1882-89年(明治15-22)

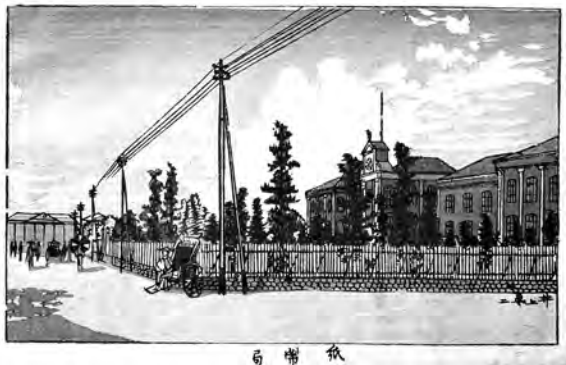


37) 東京真画名所図解 筋違通夜景

井上安治 1881~89年(明治14~22)

38) 東京真画名所図解 紙幣局

井上安治 1881~89年(明治14~22)



39) 東京真画名所図解 鹿鳴館

井上安治 1883~89年(明治16~22)

1883年(明治16)竣工の鹿鳴館は、外国貴賓を接待する施設として建てられ、舞踏会をはじめとしたさまざまな催し物が開かれました。

作品では、夜会の灯りがもれる建物前の庭園で、ベンチに座る人物を月光が照らす様子が描かれています。

40) 東京真画名所図解 外桜田遠景

井上安治 1881~89年(明治14~22)



41) 東京真画名所図解 桜田参謀本部

井上安治 1881~89年(明治14~22)

桜田門付近の桜田濠越しに、永田町の坂上に建つ、1881年(明治14)竣工の参謀本部の建物が描かれています。

当時、同じような構図の作品がさまざまな絵師たちによって描かれ、開化東京を代表する風景であったことが分かります。

42) 東京真画名所図解 靖国神社

井上安治 1881~89年(明治14~22)



43) 東京真画名所図解 竹橋内

井上安治 1881~89年(明治14~22)

現在の北の丸公園にあった、竹橋陣営(近衛連隊兵舎)を、南側より眺めた風景が描かれています。

1871年(明治4)にウォートルス設計による、正面の三角破風に菊の紋章を、その上の塔に時計塔を備えた煉瓦造りの建物は、戦後北の丸公園整備にあわせて解体されました。

44) 東京真画名所図解 吹上釣橋

井上安治 1881~89年(明治14~22)

作品は1870年(明治3)に、現在の吹上御苑と宮中の間にあった道灌濠に架けられた、日本最初の鉄製の吊り橋です。しかし1884年(明治17)に皇居造園計画の中で撤去されてしまいました。

橋の架けられた道灌濠は、その後3つに分割されてしまい、一般参賀などの限られた機会に、下道灌濠の姿は眺めることができます。

おもな参考文献

井上安治 東京真画名所図解 解題

安藤鶴夫・吉田漱 平凡社 1968年

色刷 明治東京名所絵 井上安治画

木下龍也編 角川書店 1981年

清親と安治 光線画の時代

山口県立萩美術館・浦上記念館 2012年

井上安治生誕一五〇年記念 絵師たちの視線

茅ヶ崎市美術館 2014年

増補新訂 浅草細見 浅草観光連盟 1976年

東京の橋 石川悌二 (株)新人物往来社 1977年

中央区の橋・橋詰広場 中央区委員会 1998年

江戸っ子と浅草花屋敷 小沢詠美子 (株)小学館 2006年

図版 明治の地図で見る 鹿鳴館時代の東京 (株)学習研究社 2007年

GAS MUSEUM がす資料館 企画展ご案内郵送申込について

ご来館ありがとうございます。これから3ヶ月ごとに開催されます、「GAS MUSEUMがす資料館 企画展」のご案内はがきの郵送をご希望の方は、官製ハガキに ①氏名 ②連絡先住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤感想・意見 ⑥今後希望する企画展、をご記入の上、下記の住所までお申し込みください。

次回より約1年間、毎企画展ごとにご案内ハガキを無料で郵送します。

(ハガキ持参で来館された方は、そのまま継続して登録されます)

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25 GAS MUSEUMがす資料館「ご案内ハガキ」係

TEL(042)342-1715 FAX(042)342-8057

《当館のお客様情報(個人情報)は、当館イベント運営に必要な業務を含め、当館に関連する企画、及びサービスのご案内のために使用いたします。》